

平成31年度予算見積調書

課室名：生涯学習推進課
 担当名：生涯学習・社会教育担当
 内線：6914 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B79	生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト			一般会計	教育費	社会教育費	社会教育振興費	生涯学習推進事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	教育基本法第3条・第13条、社会教育法第3条、生涯学習振興法第3条		宣言項目	030624 家庭・地域の教育力の向上			
1 事業の概要 「子ども大学」を推進したことで、各地域に大学、NP0、企業、市町村等のネットワークを構築するとともに、自立した運営ができるようになった。このような「よさ」を生かし、組織と内容を充実させた子ども大学のモデル事業の実施を支援し、広めていくことにより、各地域で生涯学習を担う人材の育成につなげる。 (1) 子ども大学推進モデル事業 930千円 (2) 子ども大学カリキュラムサポート事業 200千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 子ども大学推進モデル事業 930千円 障害のある子供たちを対象にした「子ども大学」の開校を支援し、その子供たちの知的好奇心を刺激するとともに、家庭や学校の外で他者と関わることができる大学等での学習機会を提供することによって、生涯学習への動機づけする。 イ 子ども大学カリキュラムサポート事業 200千円 県内すべての子ども大学で大学・短大の教授等からの高度な学びを受けられる機会を創出し、より多くの子供たちの知的好奇心を刺激する学びを提供する。 (2) 事業計画 ア 「特別支援子ども大学」の開校支援 障害のある子供たちを対象にした「特別支援子ども大学」を企画・運営する実行委員会を支援し、その取組の成果を各市町村に広める。 イ 「子ども大学カリキュラムサポート事業」の実施 大学・短大の教授等が地域の子ども大学以外で講義や体験活動を実施し、すべての子ども大学で高度な学びが開ける支援をする。 (3) 事業効果 ア 既存の子ども大学のよさが各市町村内で共有され、子ども大学の組織・内容を充実させることができる。 イ 子ども大学の運営に多くの人材が関わり、多様な学習を展開することで、積極的に生涯学習に取り組む人材が育成され、学びの循環が機能した社会が進展する。 ウ 埼玉子ども大学協力校連絡協議会が組織され、子ども大学の講義や体験活動の内容がより魅力的になる。 (4) その他 【前年度からの変更点】 ア 「外国人交流モデル事業」が終了。 イ 「子ども大学継続支援事業」を廃止。 ウ 「子ども大学カリキュラムサポート事業」を新規。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	1,130							1,130	△292
前年額	1,422							1,422	